

(別冊)音波探査記録集

音波探査の方法

北海道電力

	浅海域	深海域
測線間隔	約 4 km (格子状)	
振源	水中放電式 (スパーク)	
最大水深	約 1000 m	約 2000 m
発振間隔	3 秒	6 秒
発振エネルギー	4500ジュール	8000ジュール
船速	約 4 ノット	
船位表示	2 ~ 3 分間隔 (300 ~ 500 m)	
記録の縦横比	約 7	約 1.5

海上保安庁

対象断層	③⑦ ④⑩ ③⑨ (F-a)(F-c)(活拗曲)	② (F-b)
記録原典	大陸棚の海の基本図 海底地質構造図 「積丹半島付近」 20 万分の 1, 海上保安庁	沿岸の海の基本図 海底地質構造図 「神威岬」 5 万分の 1, 海上保安庁
測線間隔	約 2 海里 (3.7 km)	東西方向 約 4 km 南北方向 約 1.5 km
振源	圧縮空気式 (エアガン)	水中放電式 (スパーク)
発振間隔	約 6 秒	約 4 秒
発振エネルギー	7,000 ジュール	10,000 ジュール
船速	約 10 ノット	約 5 ノット
船位表示	10 分間隔	2 ~ 5 分間隔
記録の縦横比	約 27	約 10

敷地前面海域

C

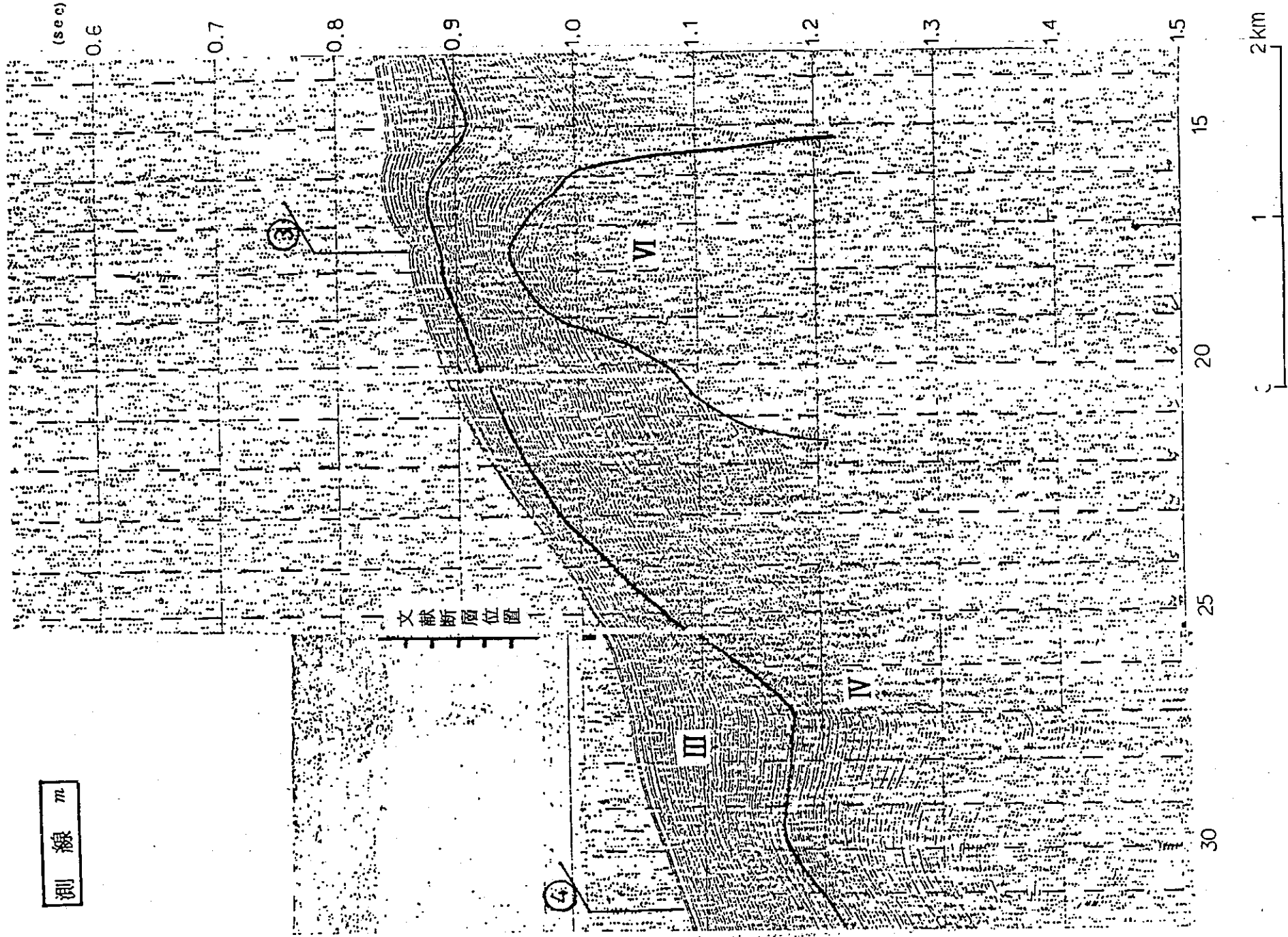
C

文献断層 (F—a~F—c)

F - a

北海道電力

測線 m



海上保安庁

67 - 2

断層面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

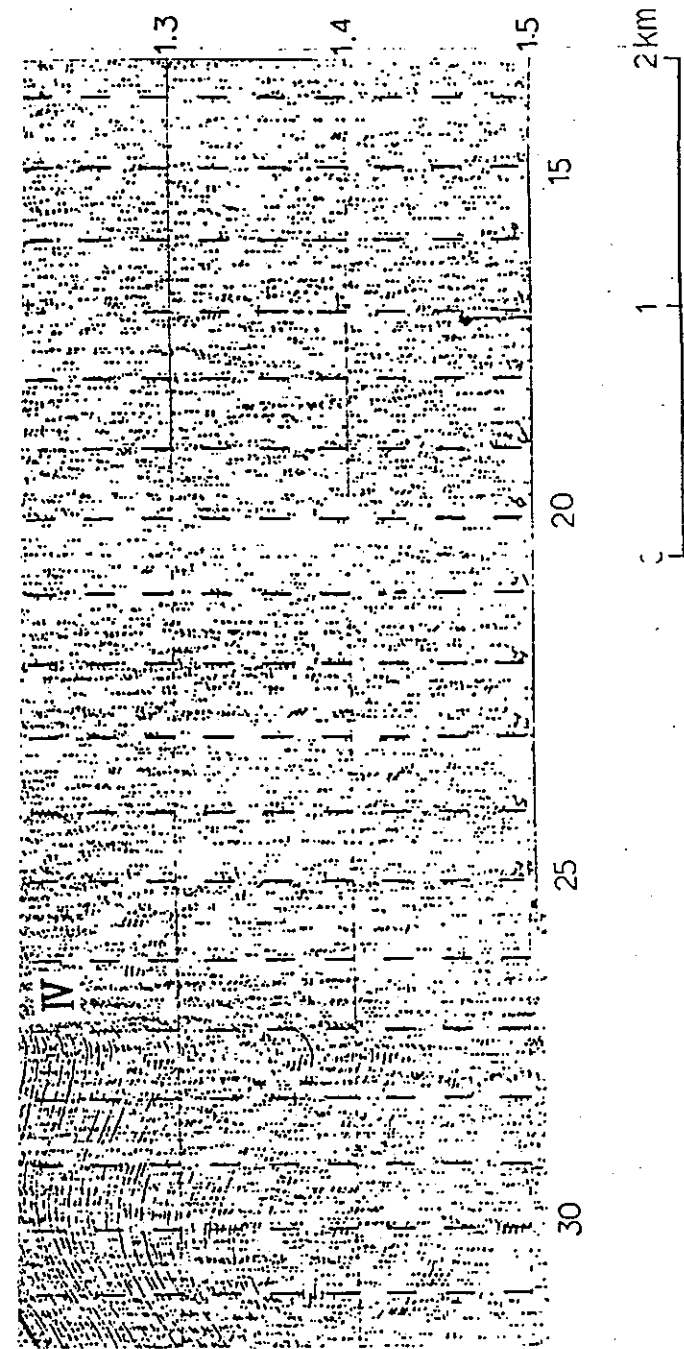
5/27
9-00

DEC 07-28

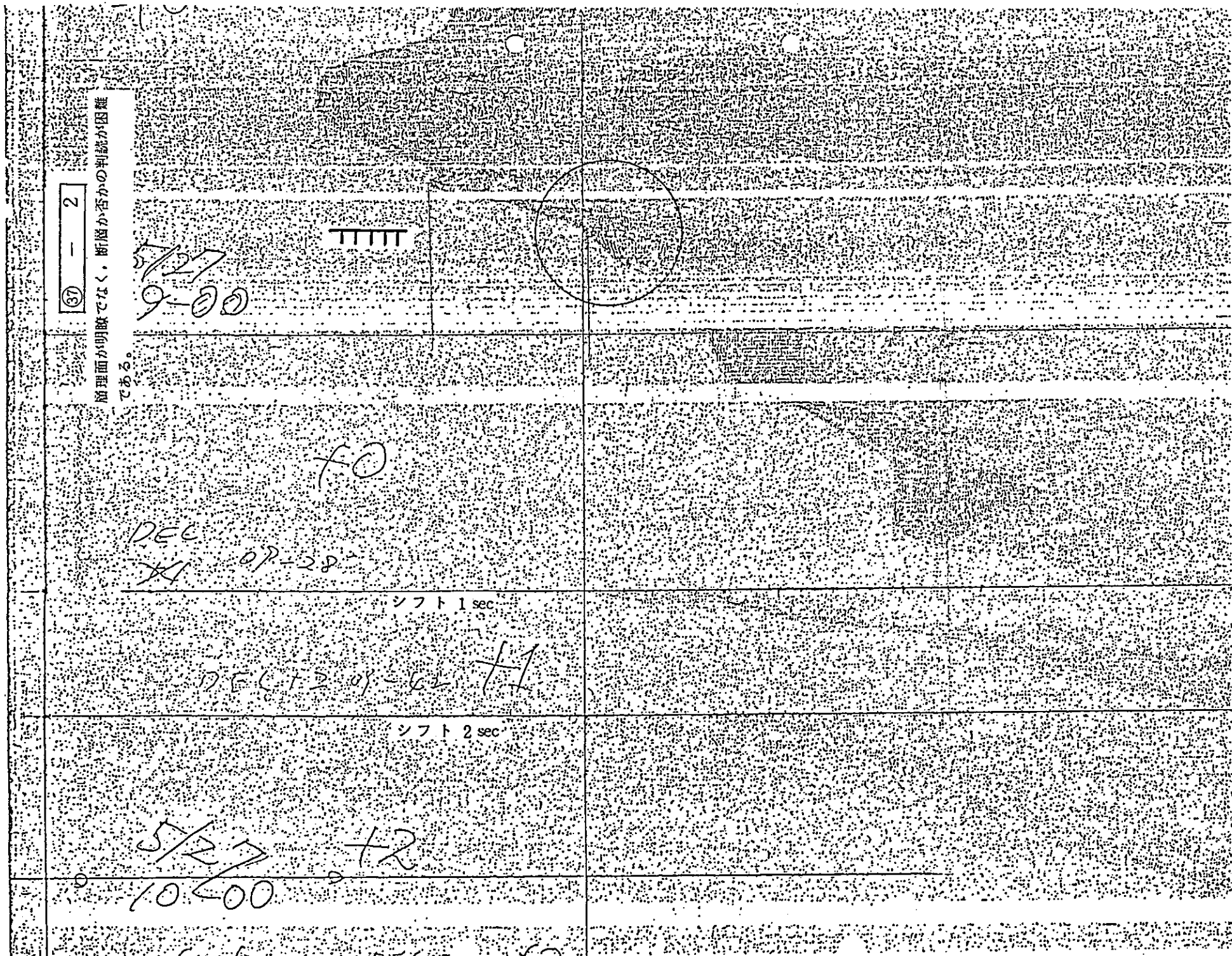
DEC 12-07

5/27
10-00

p3 1/2



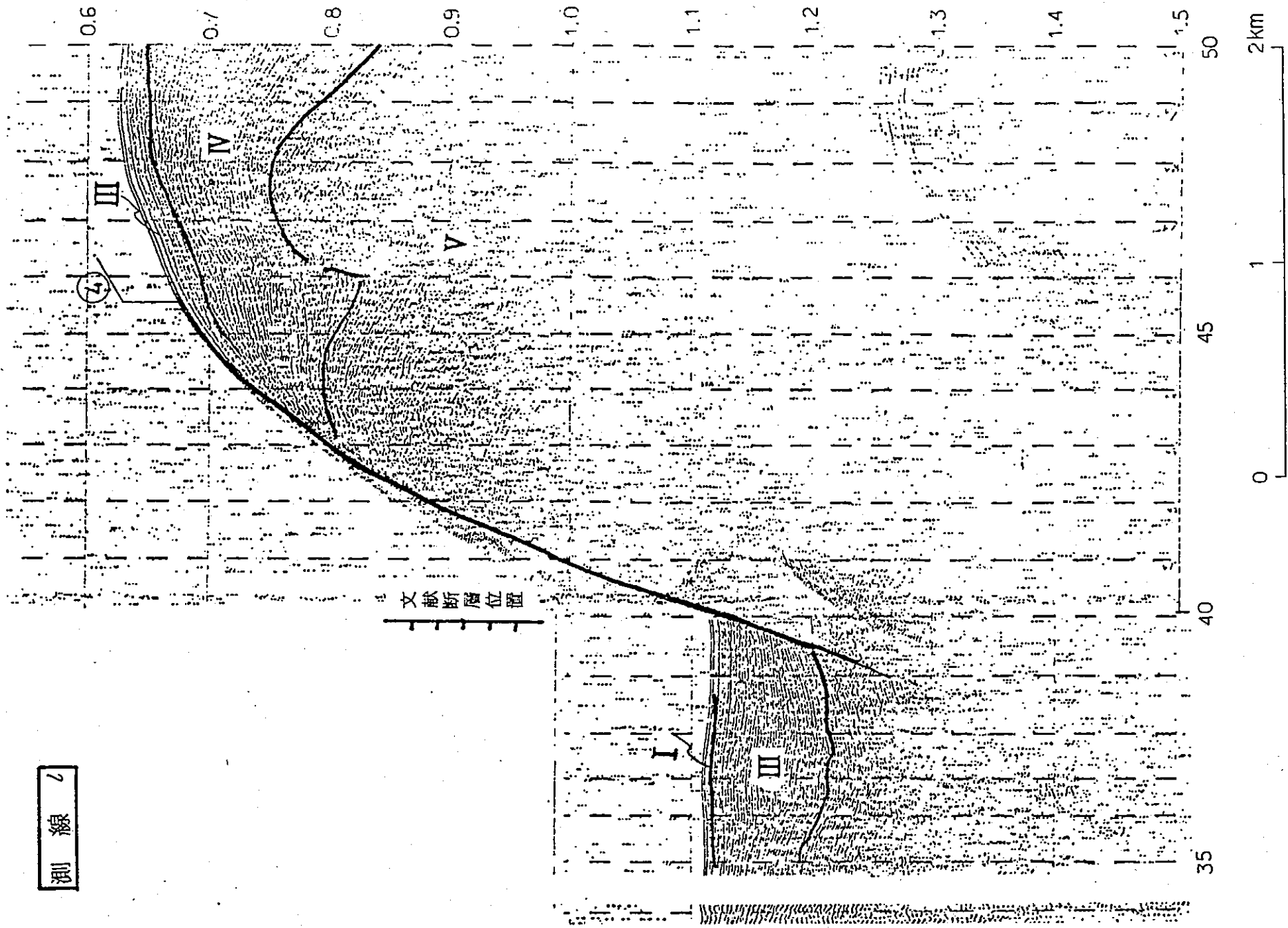
海上保安庁



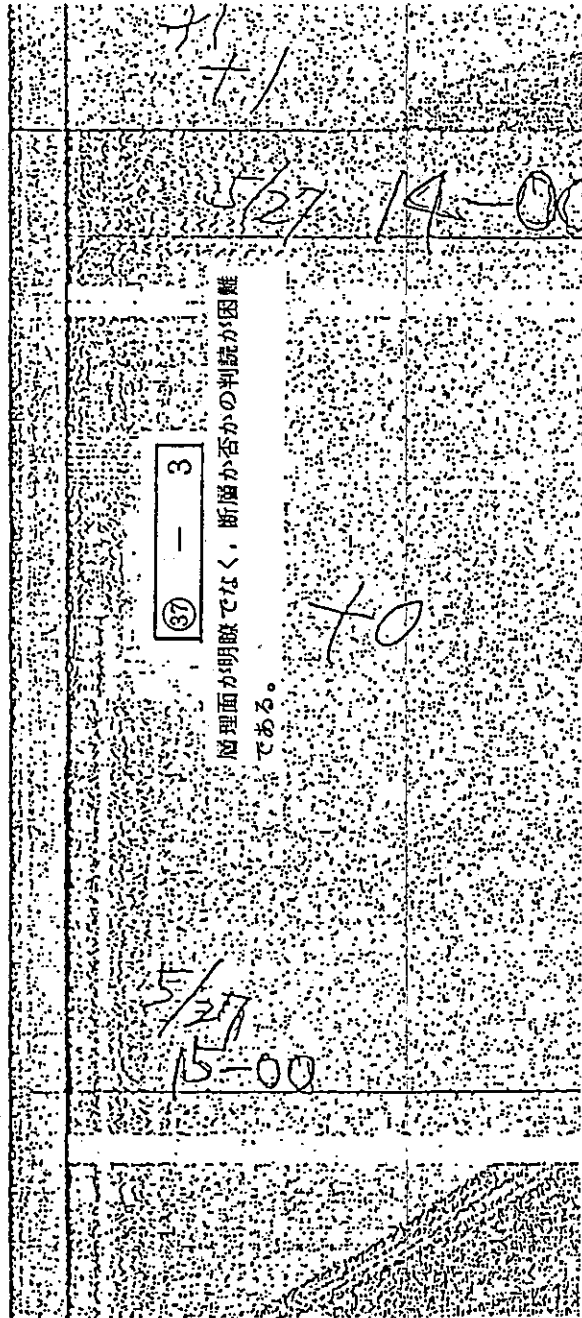
F-a, 測線m

F-a

測線



海上保安庁



③ 断層面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

④

5/27
15-00

5/27 14-00

41
71

71
7.1

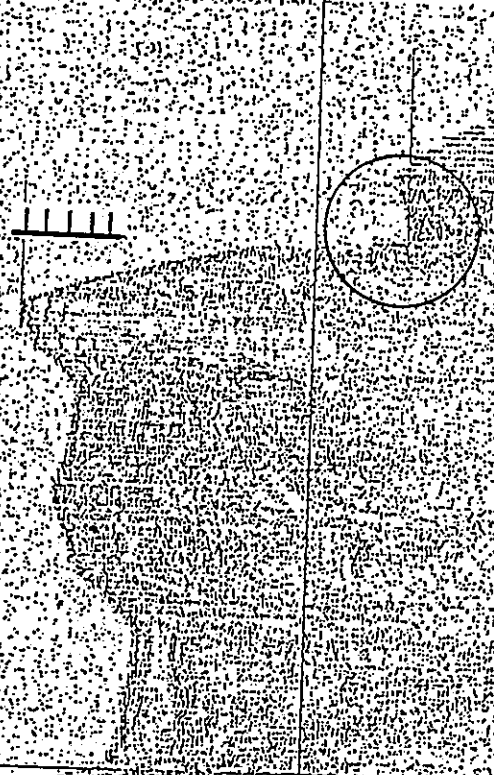
5/27 14-00

ソフト 0 sec

37 - 3

断理面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

70



5/27
15-00

海上保安庁

16-00

37 - 4

断理面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

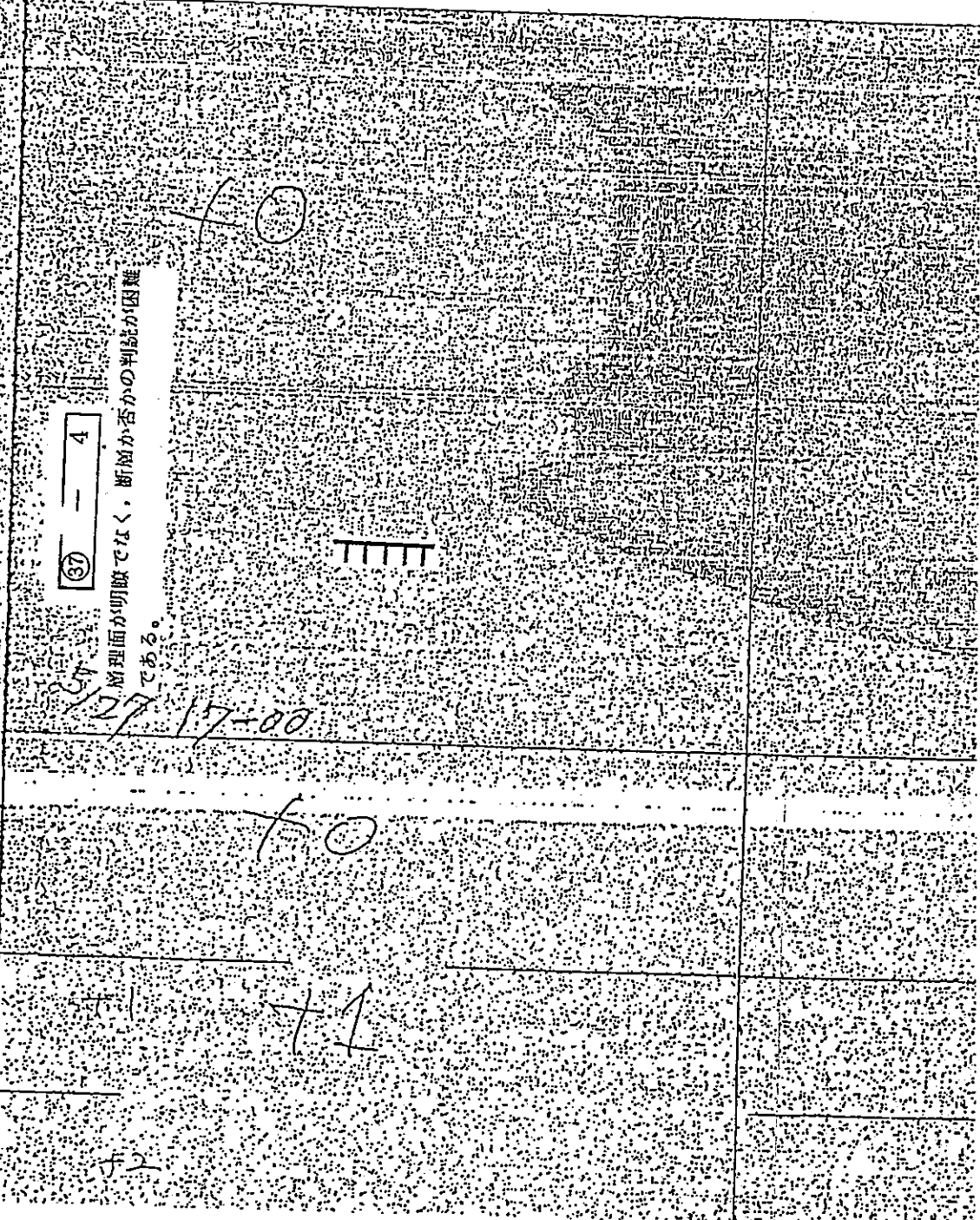
5/27 17-00

70

70

71

72



16-00

③7 - 4

断理面が明瞭でなく、断面か否かの判読が困難である。

25/27 17-00

f.0

|||||

f.0

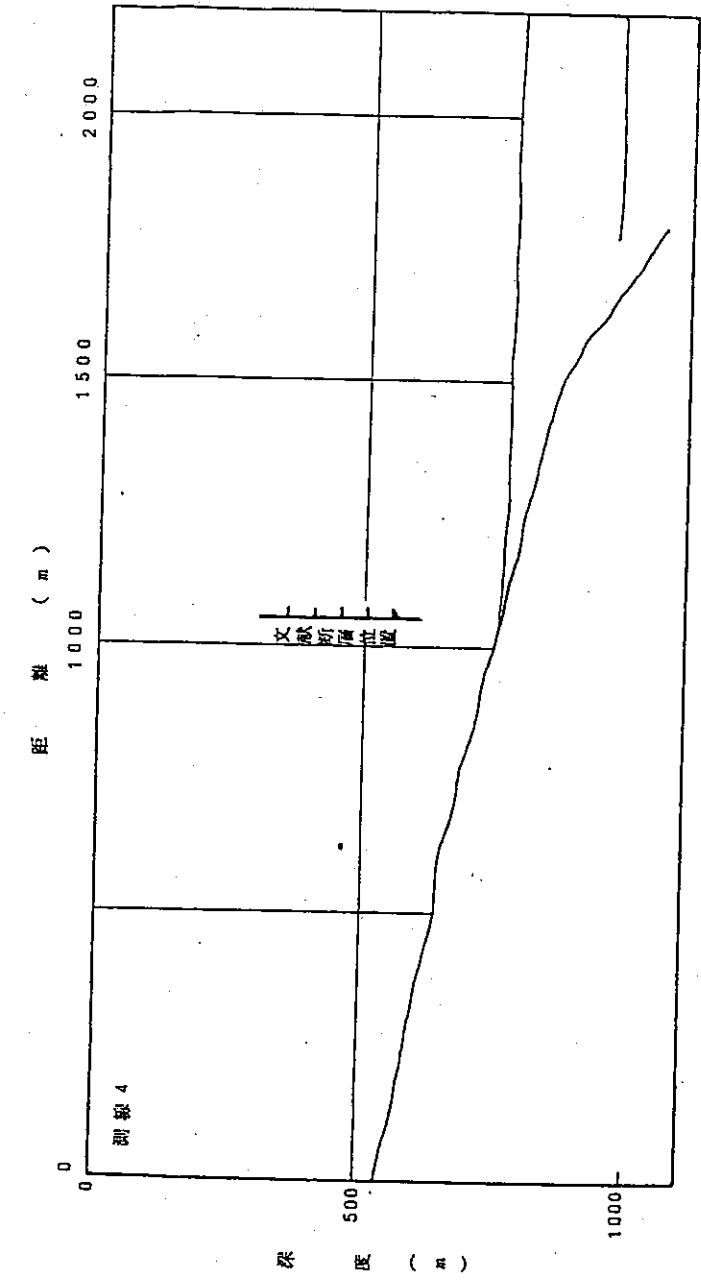
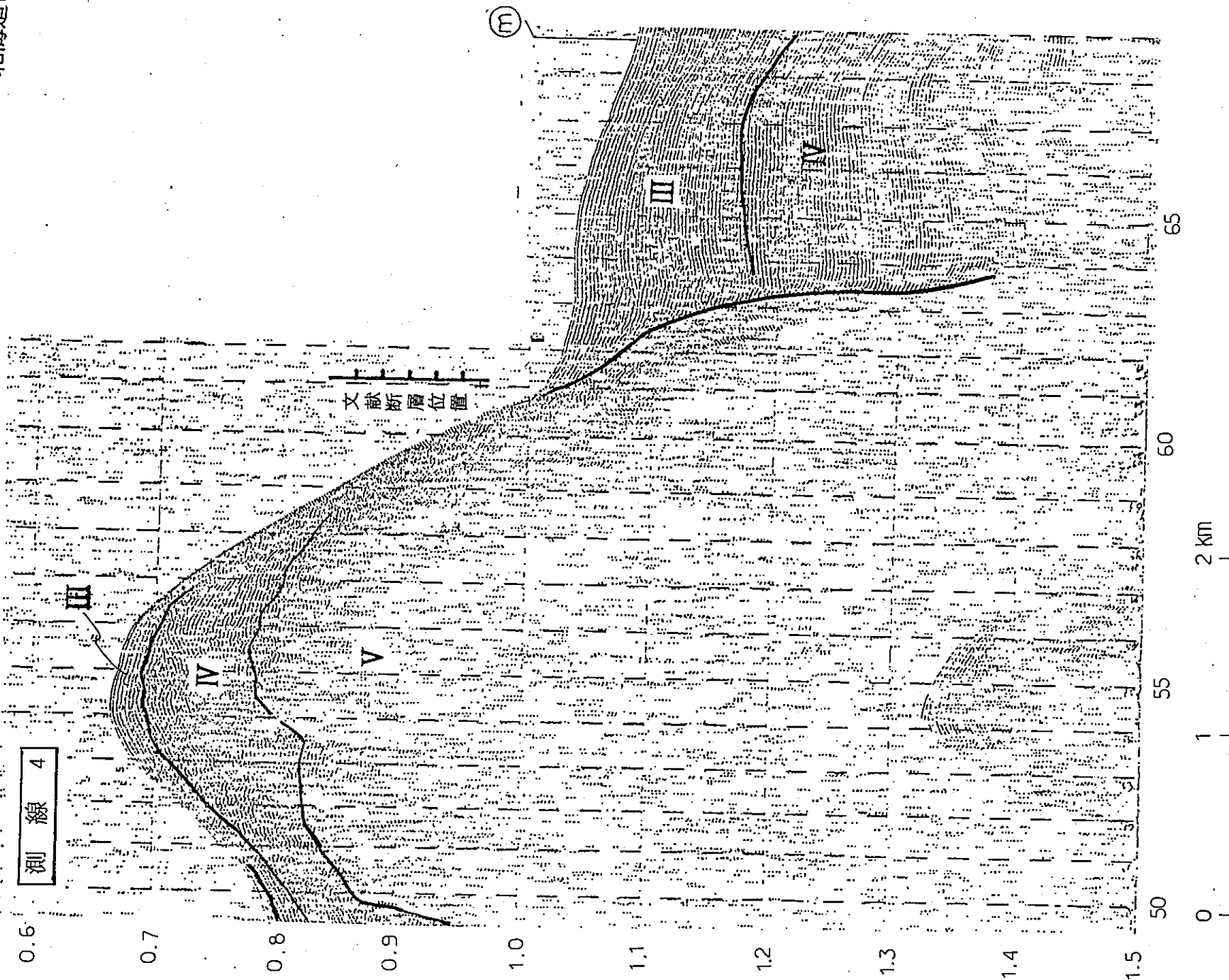
+1

+1

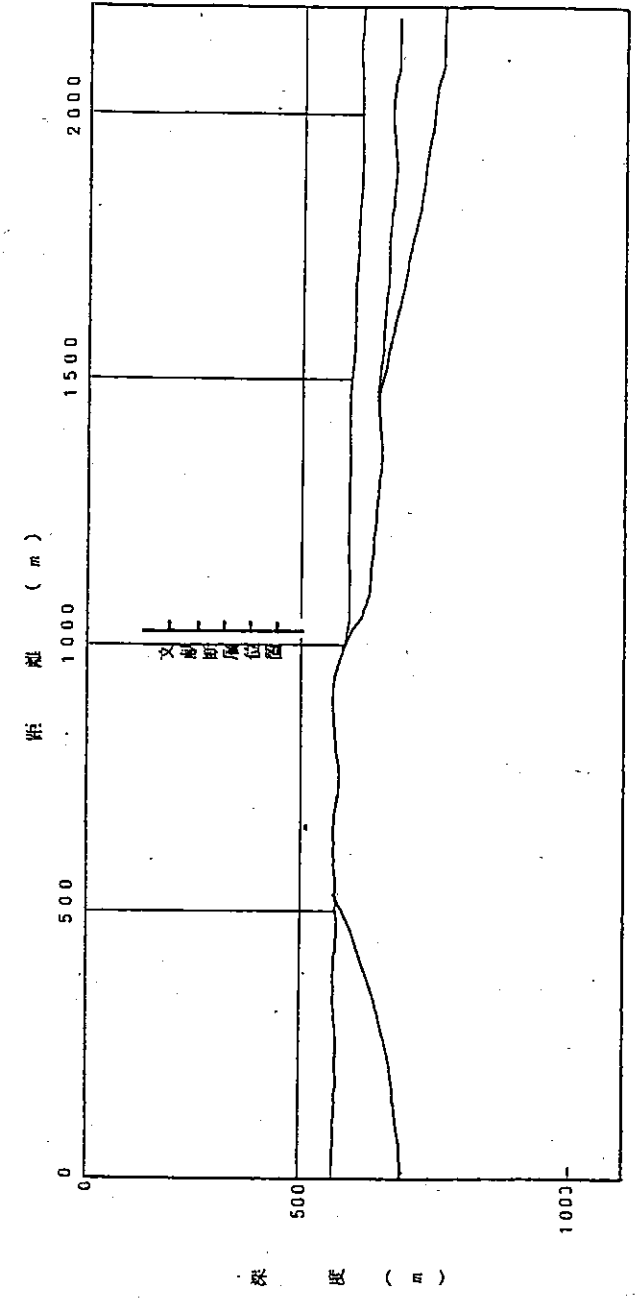
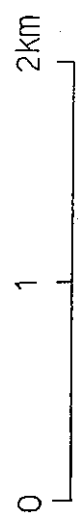
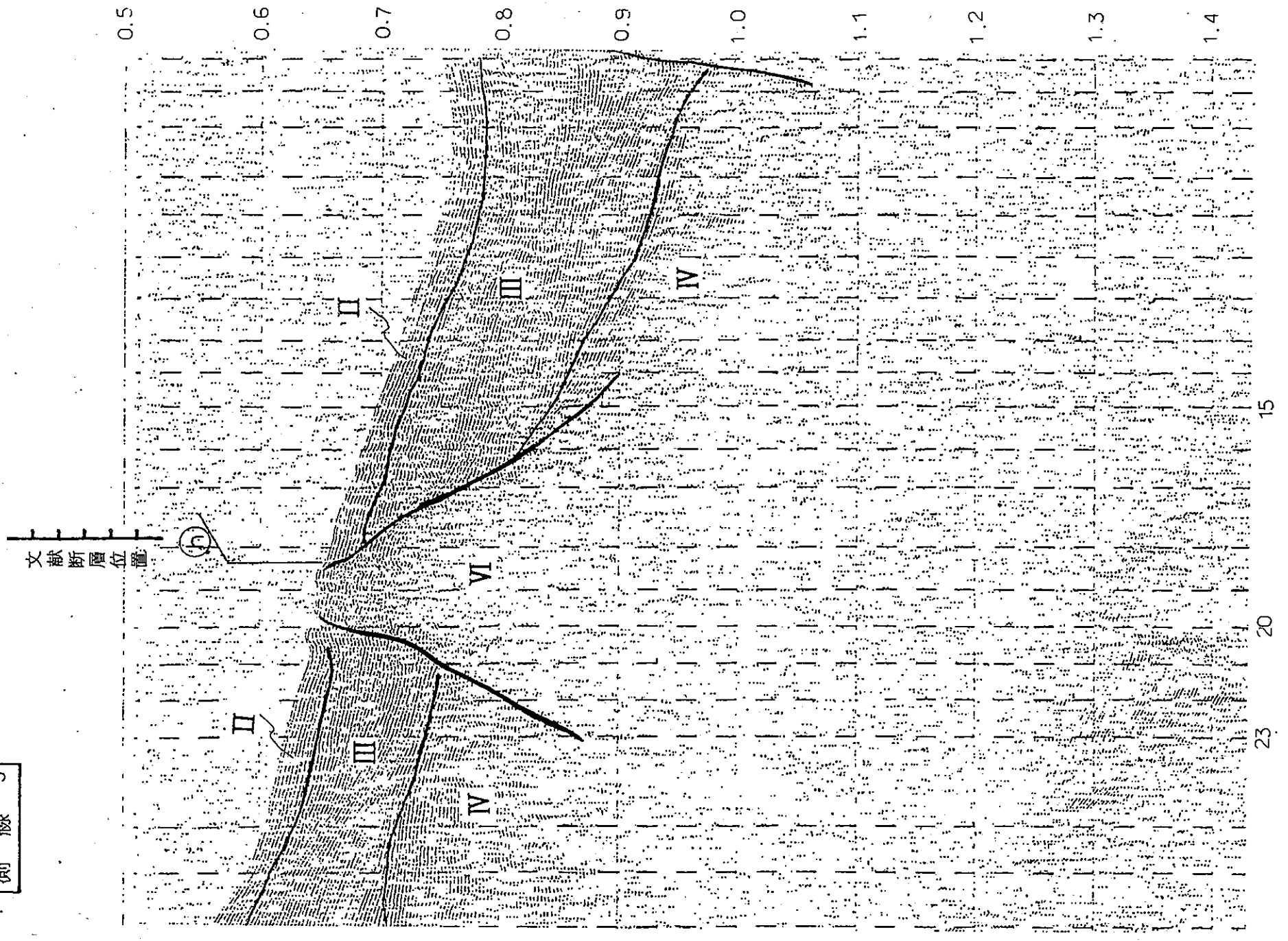
+2

F-a, 測線 0

F-a



F-a. 測線 4

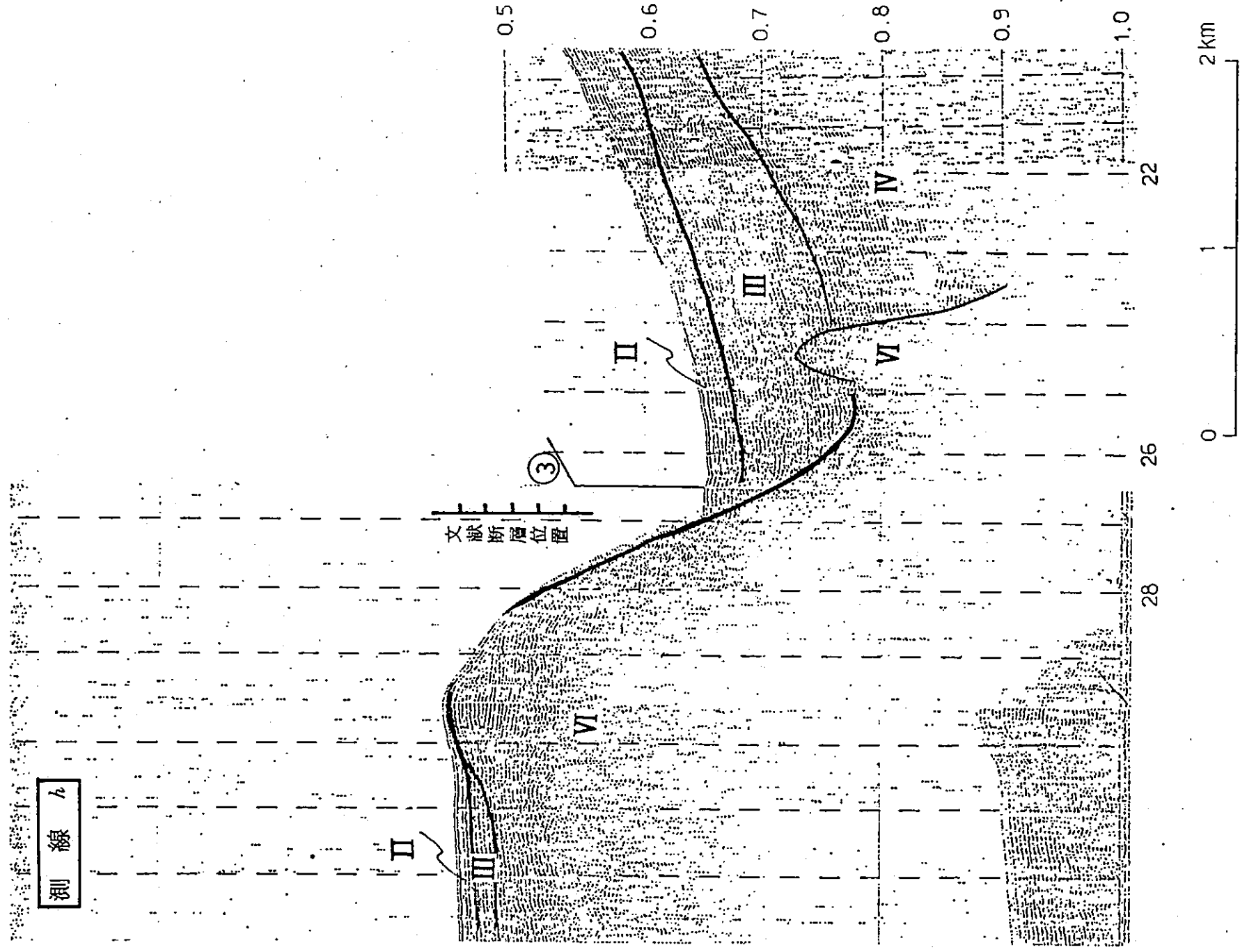


F-b, 測線 3

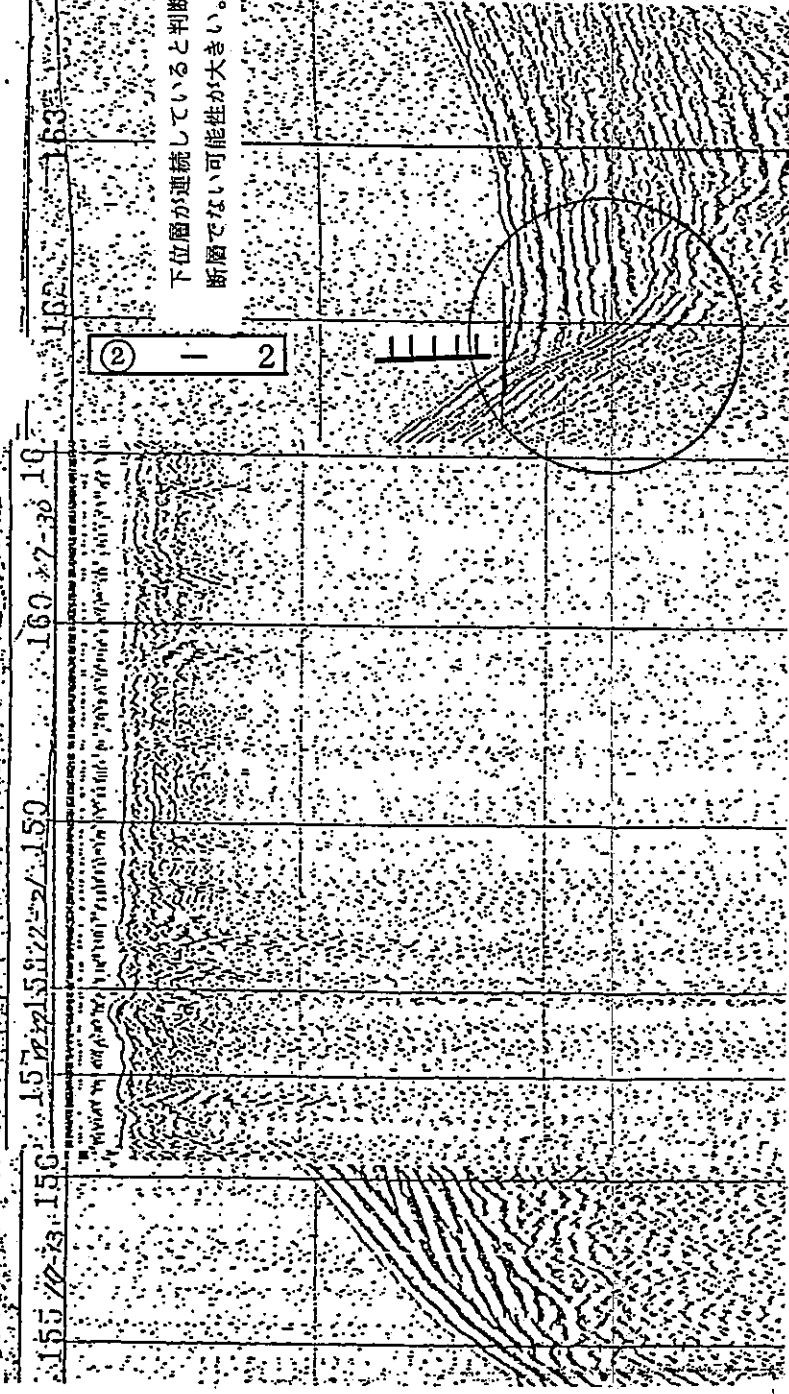
F-b

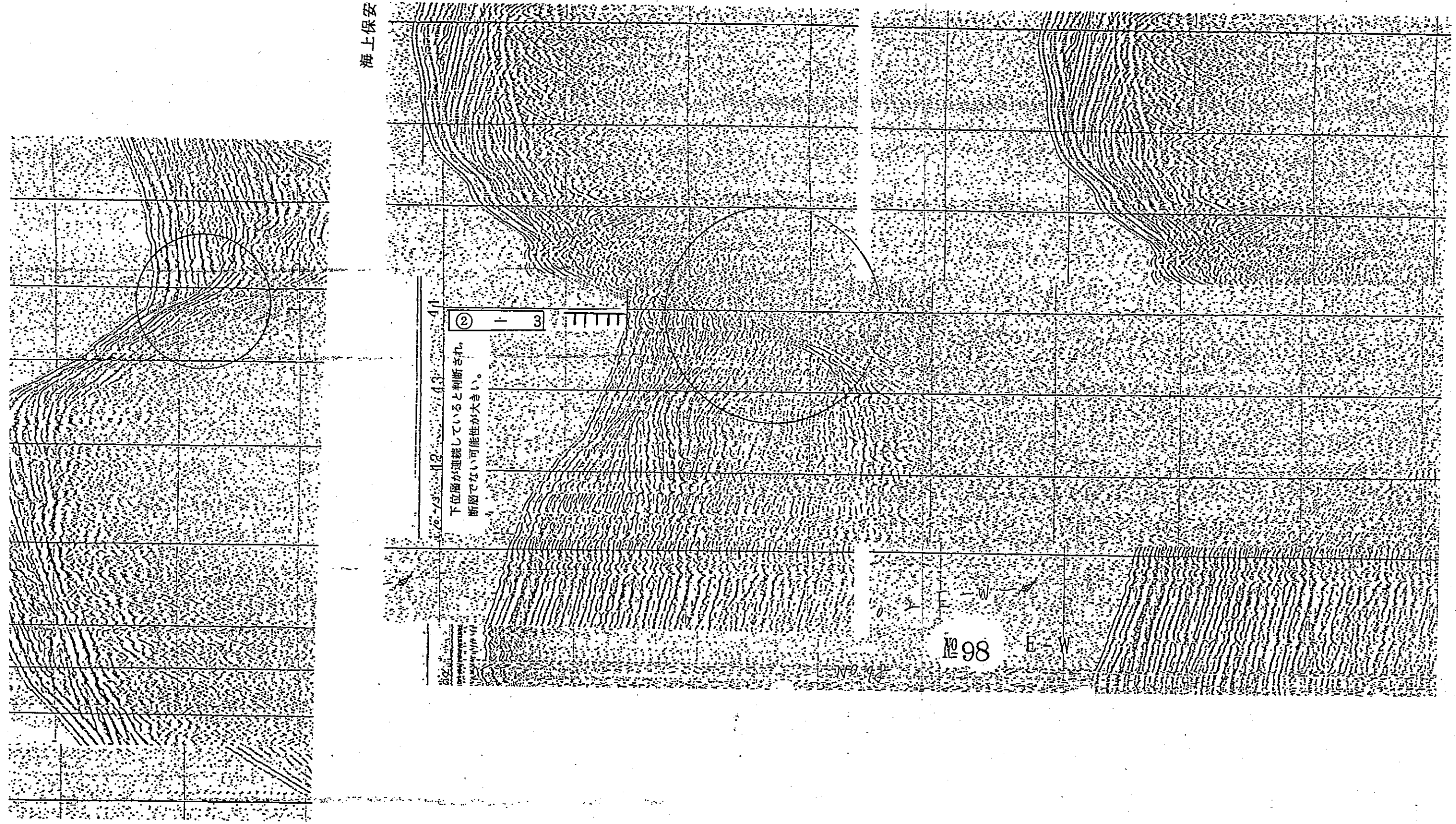
北海道電力

測線



海上保安庁

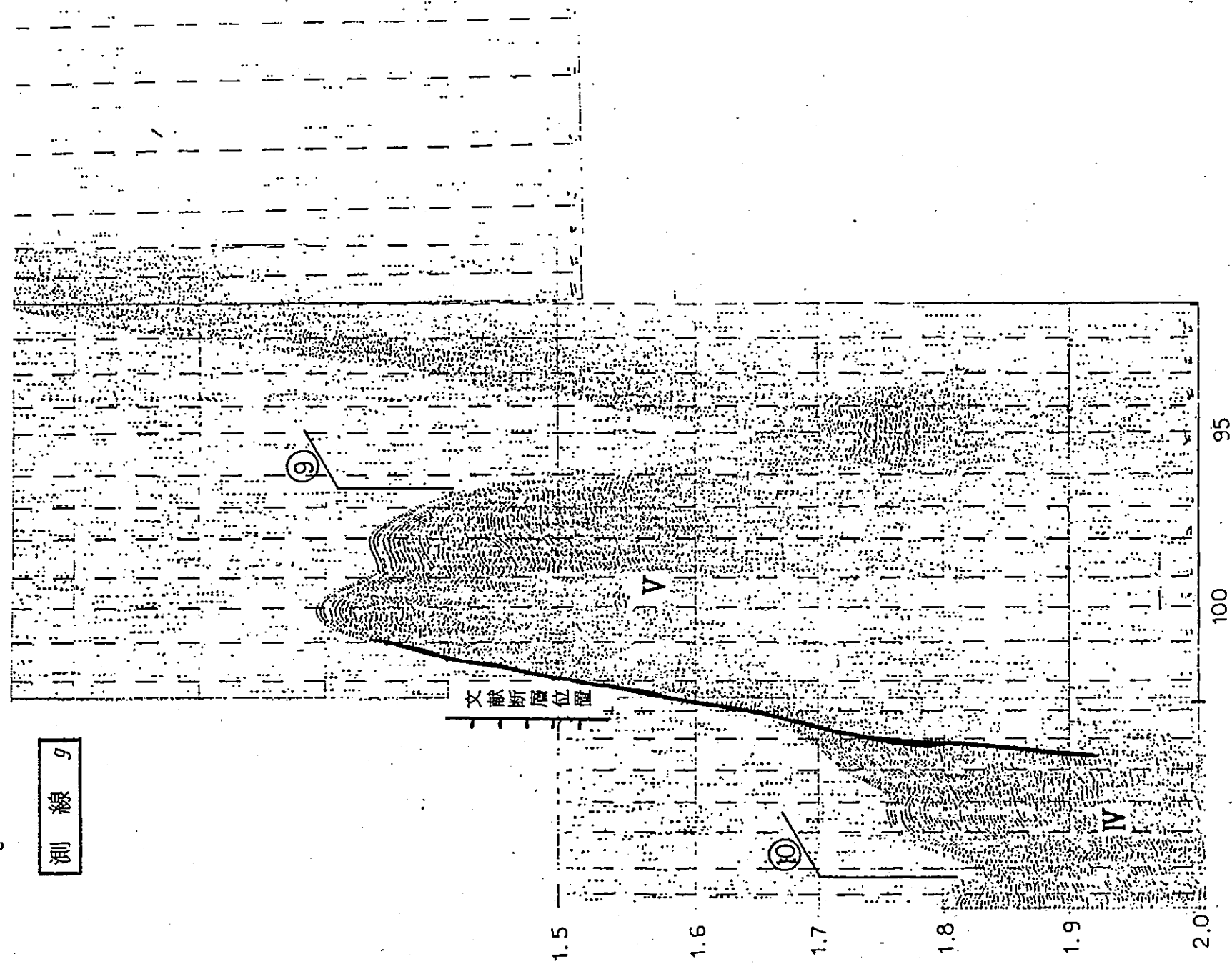




F-c

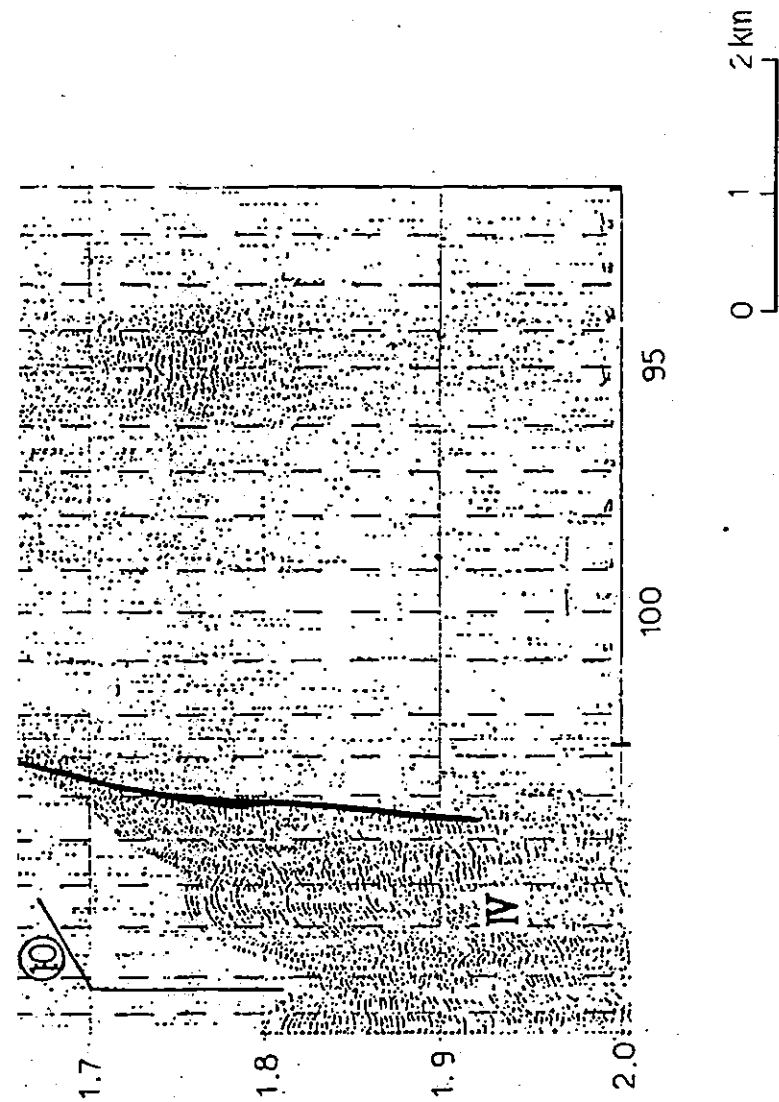
測線 9

北海道電力

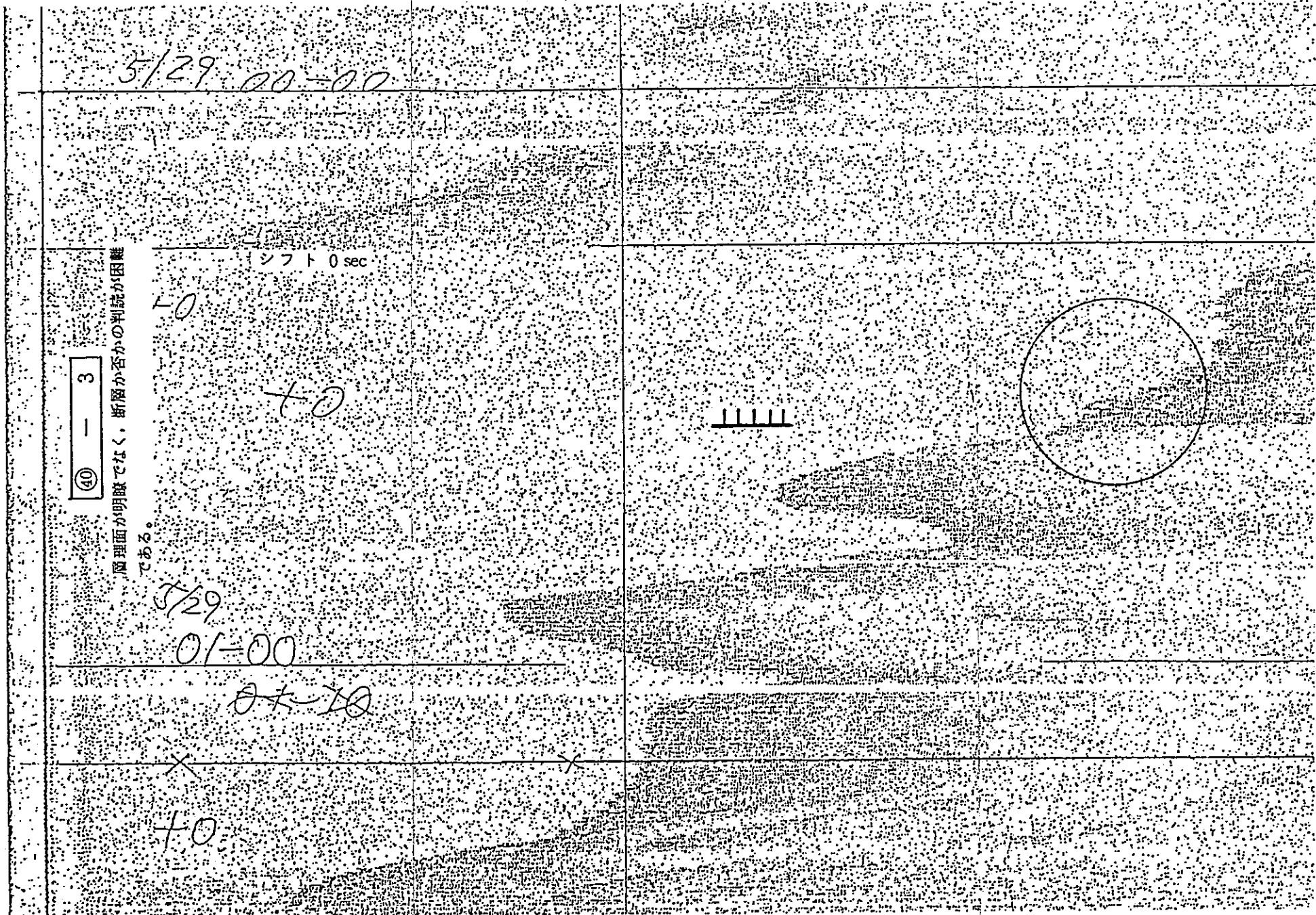


海上保安庁

	<p>④ - 3</p> <p>層理面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。</p>	
	<p>5/29 00-00</p> <p>ソフト 0 sec</p>	
	<p>40</p> <p>7/29</p> <p>01-00</p>	
	<p>70</p> <p>07-10</p>	
	<p>70</p>	
	<p>X</p> <p>70</p>	



海上保安庁



④ — 3

層理面が明瞭でなく、断層か否かの判読が困難である。

5/29
01-00
~~01-10~~
40
40
40

F-c

測線 4

(sec)

1.6

1.7

1.8

1.9

2.0

2.1

2.2

2.3

2.4

2.5

北海道電力

文献断層位置

9

10

II

V

W

20

15

10

5

0 1 2 km

海上保安庁

④① - 1

記録が明瞭でなく判読が困難である。

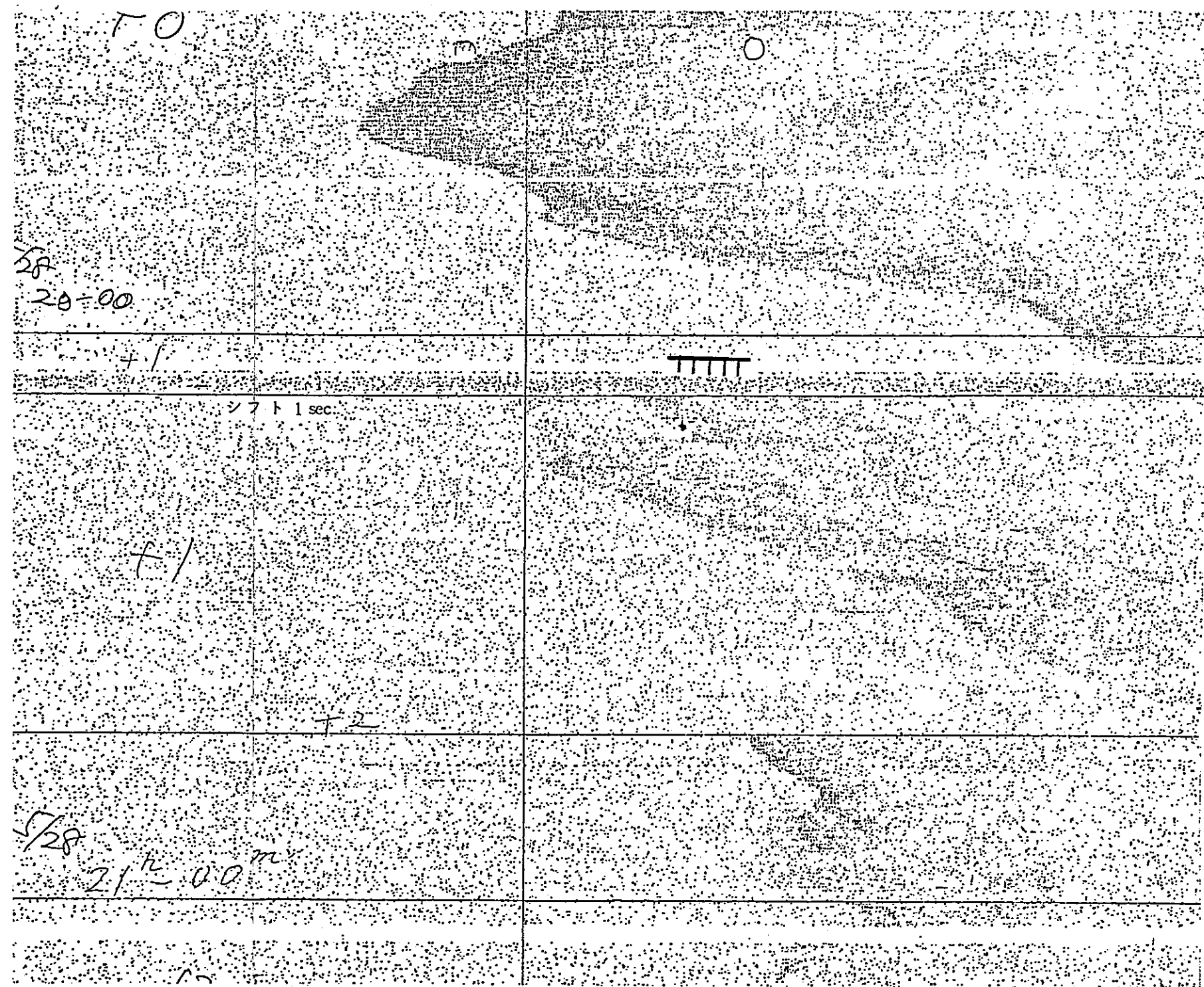
5/28

20-00

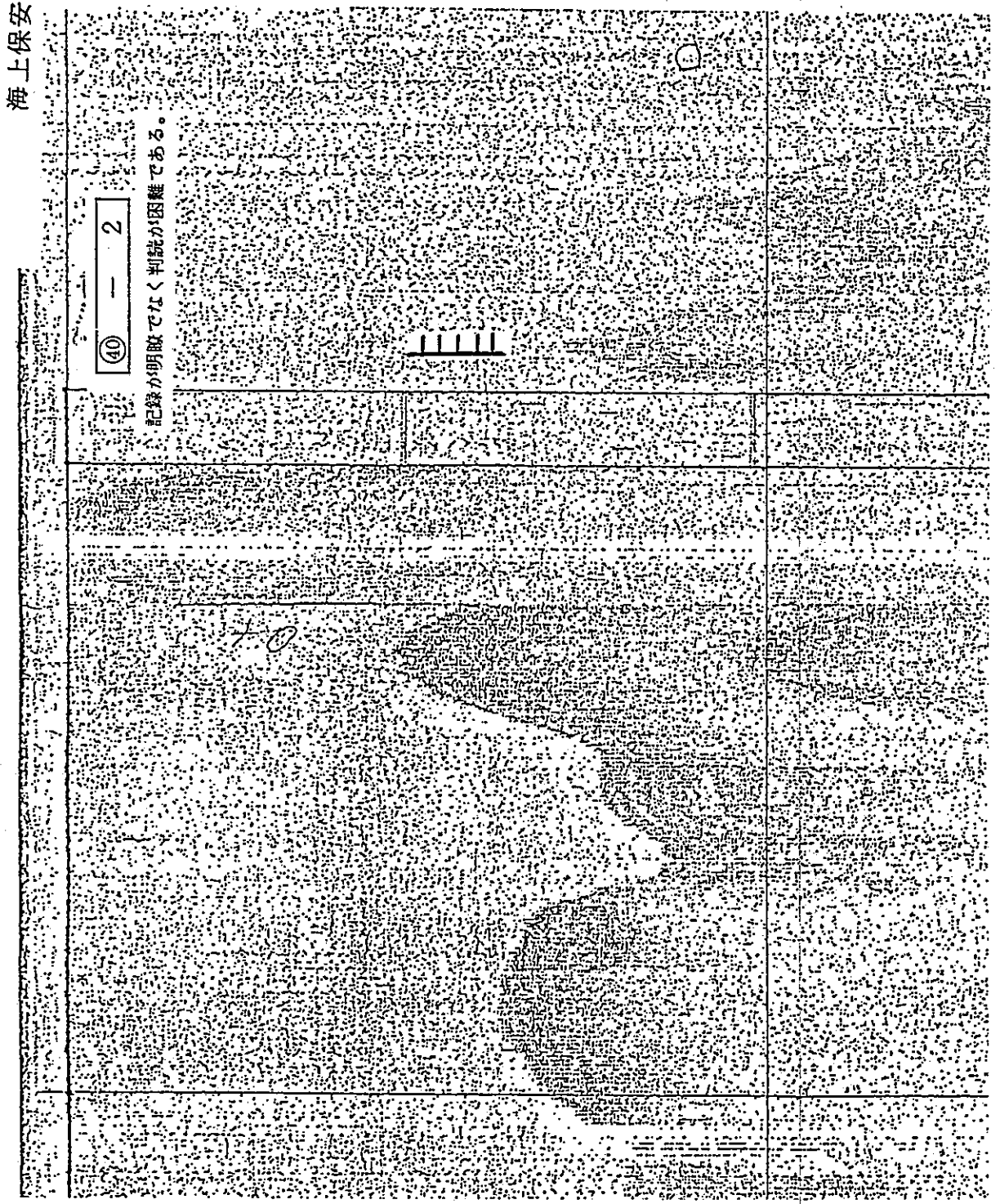
f/

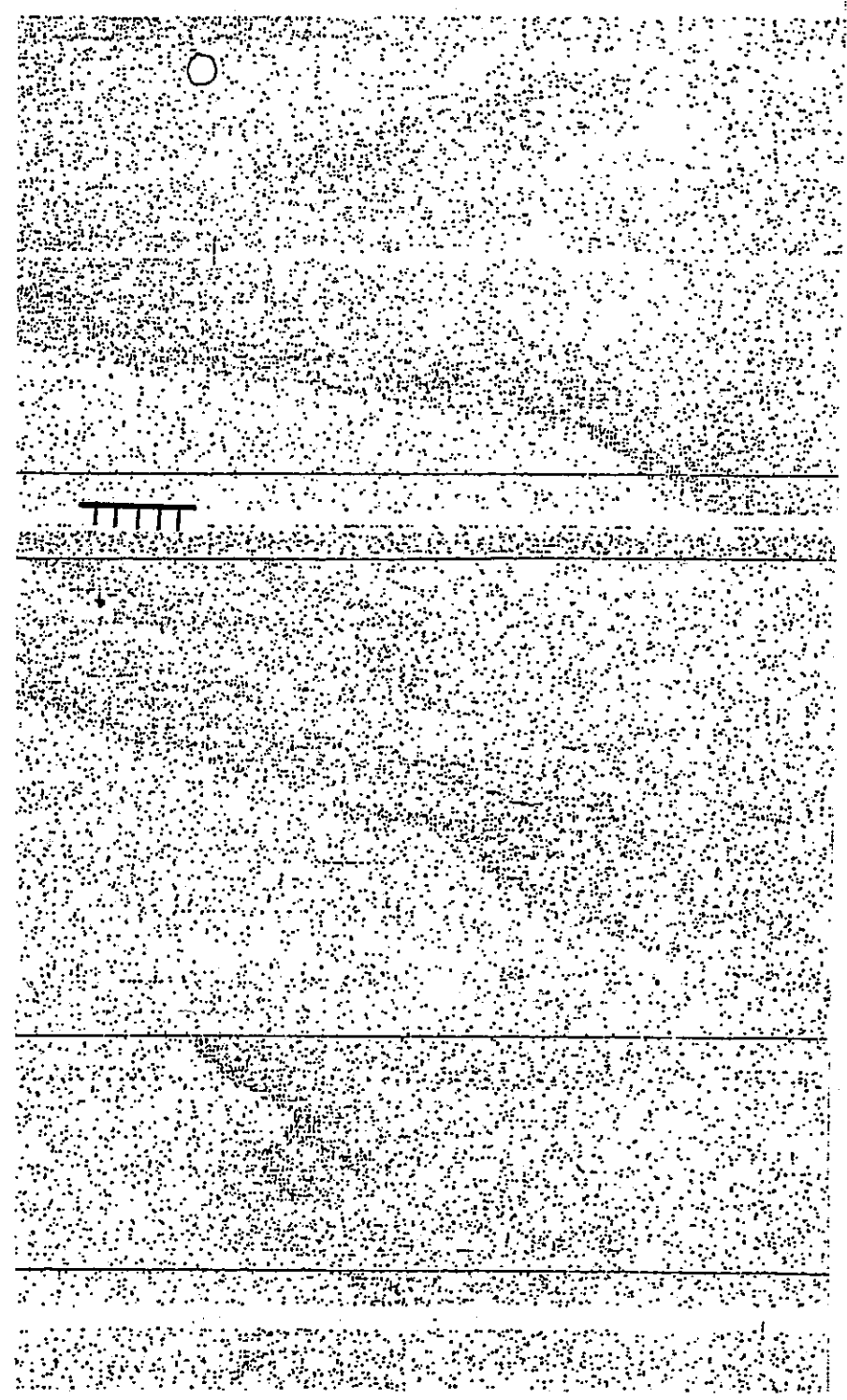
5/28

21^h-00^m

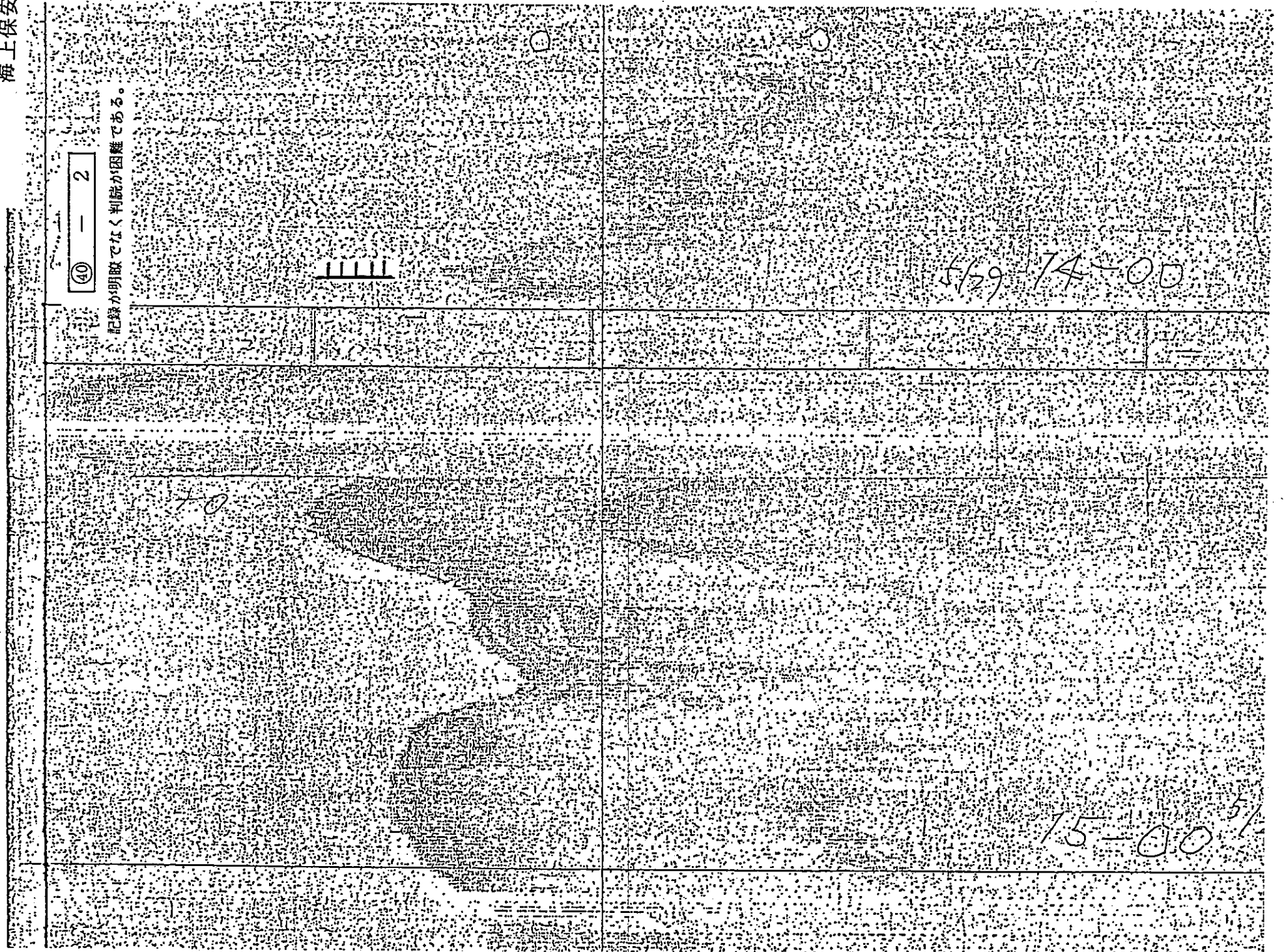


海上保安庁





海上保安庁



2

記録が明瞭でなく判読が困難である。

5129-74-00

70

75-00⁵¹

F-c

測線 f

